

試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 ファイン・ツー

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 F-118 PBC

表 題 脱臭効果試験

2019 年(平成 31 年)02 月 22 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

脱臭効果試験

1 依頼者

株式会社 ファイン・ツー

2 検 体

F-118 PBC

3 試験概要

検体についてアンモニア及びトリメチルアミンの脱臭効果をガス検知管法により試験した。

4 試験結果

試験結果を表-1及び2に示した。

表-1 アンモニアの試験結果

(単位 : ppm)

試料区分	経過時間
	10 min
検体	<1
空試験	100

初期ガス濃度 : 約100 ppm

<1 : 定量下限(1 ppm)未満

表-2 トリメチルアミンの試験結果

(単位 : ppm)

試料区分	経過時間
	10 min
検体	<1
空試験	20

初期ガス濃度 : 約20 ppm

<1 : 定量下限(1 ppm)未満

5 試験方法

1) 試薬及び器具

におい袋(35 cm×50 cm)[アラム株式会社]

アンモニア：アンモニア水(28 %，特級)[小宗化学薬品株式会社]から発生させたガスを用いた。

トリメチルアミン：トリメチルアミン水溶液(28 %)[東京化成工業株式会社]から発生させたガスを用いた。

ガス検知管[株式会社 ガステック]

ガス検知管[光明理化学工業株式会社]

2) 操作

検体をにおい袋に入れ，ヒートシールを施した後，空気9 Lを封入し，設定したガス濃度となるように試験対象ガスを添加した。これを静置し，経過時間に袋内のガス濃度をガス検知管を用いて測定した。また，検体を入れずに同様な操作をしたものを空試験とした。試験条件を表-3に示した。

表-3 試験条件

検体使用量	10 mL
試験対象ガス (初期ガス濃度)	アンモニア(約100 ppm) トリメチルアミン(約20 ppm)
温度条件	室温
測定時間	10分

以 上